

第 27 回（令和 4 年度） 熊本県女子サッカーリーグ（2 部）

8 人制サッカー競技規則

1. ルールの基本的考え方

- ① 審判 1 人制を採用することにより、選手のフェアプレー精神を養う。
- ② 審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
- ③ 審判員の決定に従いつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告するフェアな姿勢を養う。
- ④ 指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う。

2. 審判員の試合運営上の留意点（共通理解）

- ① 1 人制であることから、よく動き、よい位置取りを心がけて説得力ある判定を目指す。
- ② オフサイドの判定については、主審の見解で明確な場合のみ罰し、原則的に「疑わしきは罰せず」の考え方をとる。
- ③ スローインについては、ファールスローなどの違反を探すのではなく、明らかな場合のみを罰し、指導も行う。
- ④ フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対しての言動にも注意を払い、指導をしていく。

3. ルールについて（8 人制の主旨を徹底させるためののみ必要な変更を行う。）

★競技のフィールド

- ・フィールドの大きさ
 - タッチライン 7 5 m から 8 0 m
 - ゴールライン 4 5 m から 5 0 m
- ・マークなどの長さ、ゴールの大きさ
 - ペナルティエリア 1 5 m の半円
 - ペナルティマーク 1 1 m
 - センターサークルの半径 8 m
 - コーナーアークの半径 1 m

★ボール

- ・ 5 号球の軽量ボール（3 5 0 g）を基本とする。

★競技者の数

- ・ 8 人（内 1 人はゴールキーパー）とし、6 人未満となった場合、試合は不成立。
- ・ 登録人数・交代人数は制限せず、交替もアウトオブプレー中に、審判の許可を得て自由にできる。

★審判

- ・ 主審 1 名とする。

★試合時間

- ・ 2 0 分ハーフとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分とする。（天候などにより、協議していく。）

★ベンチメンバーの退席

- ・ ベンチにいるメンバー（監督、コーチ、スタッフ、選手等）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行ない、主審から一度注意を受けた後、再度何れかのメンバーが同様な行為をした場合は、主審の判断により、そのメンバーを退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは不可とする。

★ゴールキック

- ・ 半円（ペナルティエリア）内のゴールライン上に置いてキックする。

その他の項目については、日本サッカー協会の「サッカー競技規則」に準じる。